

ベルマーク新聞 7月号

発行 公益財団法人 ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <http://www.bellmark.or.jp/>

地元・富山で全国1位の表彰式

射水市立大島小学校、ショウワノートのキャンペーン



協賛会社のショウワノート（ベルマーク番号 53）が実施していた「第45回ショウワノートベルマークキャンペーン」の全国1位表彰式が富山県射水市立大島小学校（宮内茂夫校長、児童666人）で行われました。体育館に全校児童が集まり、先生方や関係者が見守る中、表彰状と記念品の図鑑や絵本、ノートなどが授与されました。さらに、地元のケーブルテレビも取材に駆けつけ、盛大な式となりました。

このキャンペーンは、「ジャポニカ学習帳」や「ポケットモンスター学習帳シリーズ」「ドラえもん学習帳シリーズ」などについているショウワノートのベルマークを1年間でどれだけ集めたかを集計し、上位校を表彰するものです。今回、全国1位に輝いた大島小学校は10,870点のマークを集めました。

式の冒頭、同社の中条（ちゅうじょう）宏志社長は「ショウワノートの本社と工場は高岡市にあり、今回同じ富山県の小学校が1位に選ばれて、これ以上嬉しいことはありません」と喜びを表しました。同時に、国内では近年多くの災害が起きている現状を話し、「自分たち

の備品を買うだけでなく、皆さんが集めたベルマークは被災校の役にも立っています」とベルマーク運動の意義も伝えました。

中条社長から、ボランティアグループ「収集の仲間」代表・前田登美子さんに



表彰状が、ボランティア委員会・副委員長で6年生の石野詩依奈（しいな）さんに記念品が手渡されました。

児童代表として挨拶をしたボランティア委員長で6年生の堀尾心愛（ここあ）さんは「全校のみんな、家族、収集の仲間の皆さんに感謝しています」と述べました。表彰式後の懇親会では、「ムーミン」や「ミッフィー」などの世界の名作が「ジャポニカ学習帳」とコラボしたノートや、180度水平に開く「水平開きノート」などが紹介されました。

大島小学校は、地域のボランティアの皆さんと児童とが交流する「地域の先生とのふれあい」活動を授業に取り入れています。手話やサッカー、合唱など多彩なメニューの中にあるのが、ベルマークと古い切手の仕分けです。「収集の仲間」の9名が、児童と一緒に会社別に仕分けします。毎回約40～50人の児童が集まるそうです。その後の細かな仕分けと発送も「収集の仲間」の担当です。

代表の前田さんは「会社員時代からベルマークを集めていました。集めるのが好きなんです」とのことで、他のメンバーも前田さんが誘ったそうです。皆さん、これからも末永くよろしくお願いいたします。

ショウワノートは現在、第46回のキャンペーンを開催中です。2019年1月1日～12月31日の間にベルマーク財団で検収されたマークが対象で、エントリーは必要ありません。ショウワノートのHPからは集めたマークを貼る台紙がダウンロード出来ます。A4版1枚で100枚貼れるカラフルで可愛い台紙です。ぜひご活用の上、たくさんのマークを集めてください。



⑤記念撮影。中央はショウワノートの中条宏志社長
④児童代表 堀尾心愛さんの言葉
③体育館に集まった全校児童



2019年度説明会、全国95か所を終了

5～6月、1万2千人余が参加

ベルマーク運動説明会は、6月21日の宮崎・延岡会場を最後に、全国95か所での開催を終えました。10連休が明けた5月7日、福岡・広島会場から説明会は始まり、翌8日からは新宿など首都圏での開催もスタートしました。5月末からは列島は順次、梅雨入りしましたが、雨天にもかかわらずお集まりいただいた参加団体のみなさまに感謝いたします。

各会場で、具体的な運動の体験をPTAのみなさんに発表していただきました。どうやったら、より負担少なく、効率良く、そして楽しく、ベルマークを集めて、子ども

たちを笑顔にできるのか。そこにはさまざまな工夫が込められています。財団のHP「集めてます→PTAの発表」で、そのエッセンスに触れることができます。ぜひお読みください。

説明会で上映した動画「未来を育むベルマーク」は、HPからもフルで見ることができます。DVD貸し出しも通年で受け付け中。他にベルマーク運動について知りたいことや問い合わせがあれば、いつでも気軽に財団にご相談ください。それでは1年間、よろしくおねがいいたします。





全国95会場 発表者のみなさん

ありがとうございました





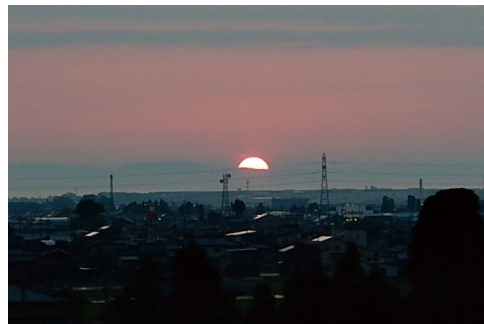
心より感謝申し上げます

全国95会場 発表者のみなさん



富山/6月4日(火)

東京の財団事務所で評議員会が終わったのが午後3時半。共に説明会`巡業、に出る事務局長、企画部長とタクシーで東京駅へ。東海道、東北、北陸と別々の新幹線に乗り込みます。



北陸新幹線の車窓から日本海が見えたのは午後6時過ぎ。沈みゆく太陽がきれいでした。反対側には朱に染まった立山連峰も。夕闇があたりを覆ったところに富山に到着。

快晴の翌朝、富山城のお堀の向かいにある国際会議場で設営を始めると、発表校・富山市立新庄小学校の6人が早々と姿を見せました。男性はそろいのPTAのTシャツ姿。本番では全員で赤いPTAベストをはおるそう。和気あいあいとしたリハーサルの様子に、「どうせやるなら楽しくやろうよ」というスロ

ーガンそのままの活動ぶりが想像できます。教育県富山の真面目な県民性を反映してか、参加者も早めに来場、開会10分前には予定校数がほぼそろいました。

新庄小は、無駄を削り負担を減らすべく自宅作業も取り入れ、無理のない活動を心がけているとのこと。最近ではベルマーク委員会への立候補も多いそうです。2月には累計600万点を達成。「周知の根気、収集の根気、集計の根気、という3つの根気を合言葉に、富山県でナンバー1を目指したい」と、力強い宣言で発表を締めくくってくれました。



金沢/6月5日(水)

富山から金沢までは新幹線「つるぎ」を利用。この区間だけシャトル運行しているそうです。途中、新高岡駅を過ぎたあたりで左側に昨年完成したショウワノート(ベルマーク番号53)の本社工場が見えました。



金沢駅は兼六園口が総ガラスの大ドームで覆われ、その先には巨大な木製の「鼓門」。日本で唯一「世界で最も美しい駅」に選ばれたとのことですが、凄い。



市内では外国人観光客の姿が目立ちました。中にはリュックを背負ってそろいの自転車に乗った10人ほどの団体も。

もうひとつ目立ったのがツバメです。茶屋や古い商店の軒先に巣を作り、子育て真っ最中の様子でした。



発表者の金沢市立緑小学校育友会・北島諭さんに聞くと、近江町市場などは観光客が押し寄せて物価が上昇、逆に地元民は行かなくなったそう。「同じ海鮮丼でも我々は郊外の安い店で食べます」。

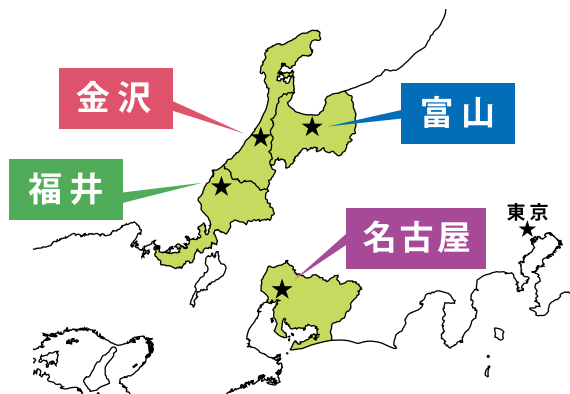
北島さんは、パワポのフォントが崩れないようにと、マックブックを持参してくれました。同校は仕分け後は10枚づ



づりにまとめ、年4回のベルマーク部会で集約、年度末に全体集計して発送しているそうです。負担軽減のため、児童の協力を得ることも模索中だとか。「子どもたちの未来のために、継続できる仕組みで」と北島さん。

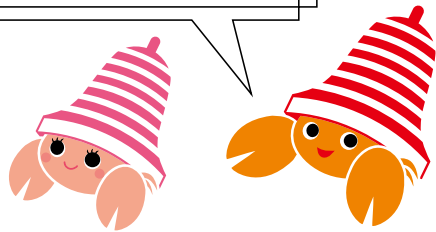
ベルマーク運動説明会、旅ドキュメント

ベルマーク運動説明会`巡業の旅、の様子を6月号に続いてお届けします。梅雨入りも重なったこの季節、北陸3県から名古屋へ、というコースをたどった財団職員の「記録」です。行く先々で、たくさんの素敵な笑顔にお会いすることができました。ありがとうございました。

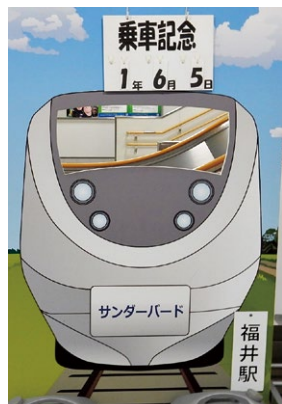


北陸・名古屋編

みなさん、
ありがとう!!



福井/6月6日(木)



金沢から特急サンダーバードに乗ると、車窓の片側は、高架橋の建設風景が延々と続きます。2023年春に敦賀まで延伸する北陸新幹線の工事です。降りた福井駅も各種工事がたけなわ。駅周辺も以前から再開発を進めていたようで、説明会会場の福井市地域交流プラザも2007年にできた駅東口再開発ビル「AOSSA(アオッサ)」内にあります。

発表者は福井市立日新小学校の橋本恵美さん。同校は1976年の開校以来ベルマーク運動に参加しており、昨年12月には累計300万点を達成。各クラスに置いた回収ケースは紙パック等で区切られ、児童がマークを仕分けしながら入れているそうです。最近では毎年約5万点のペースとのことで、橋本さんは「今後の目標はやはり400万点。コツコツ20年続ければ達成できる」と話して発表を締めくくりました。

会場には朝日新聞の記者が取材に訪れてくれました。翌日の福井版のページに記事と写真が載りました。

説明会を終えてビル1階に降りると、そこには県産杉の集成材で組み立てられた大きなティラノサウルスが。「県創作家具建具展示会」の出品作でした。さらに駅へと移動すると、ベンチに恐竜が座っているのに気づいてびっくり。さすが恐竜王国・福井です。



名古屋/6月7日(金)

福井から名古屋まで直通の特急「しらさぎ」に乗っていると、「間もなく北陸トンネル」との車内放送が。全長13.6km超、在来線では国内最長のトンネルです。通過に約7分かかりました。

列車が琵琶湖にさしかかった頃から睡魔に負け、ついうたた寝。ふと気付くと進行方向が逆になっていました。米原駅でスイッチバックしたようです。座席の



向きを変えて、との放送もあったようですが、もう遅い。そのまま背中向きで名古屋に着きました。

翌日は朝から雨。でも会場には200人を超す来場者が集まりました。発表校は津島市立南小学校。伊藤亮校長自ら作成した動画入りのパワポが「目玉」です。給食の牛乳のテトラパックを、洗うことなく、児童が自分で開いて回収可能な状態にしていく様子が紹介されており、み



な興味深く見入っていました。

発表中、伊藤校長は機械操作に徹し、マイクに向かって話すのは新旧のベルマーク委員長ら3人。リハーサルでは少し不安な様子でしたが、校長のアドバイスもあり、本番ではみな実に堂々とした話しぶりでした。

閉会後も雨足は強くなる一方。ビールジョッキを手にしたナナちゃん人形に別れを告げて「のぞみ」で東京に戻ると、梅雨入りが発表されていました。



ベルマーク大使、春から2人が交代

「みんなWin, Winに」岡田太絵子さん・豊橋市

愛知県豊橋市のベルマーク大使が、倉光陽子さんから岡田太絵子さんになりました。ベルマークを担当する教育委員会の教育政策課から倉光さんが異動で転出したのに伴う交代です。

岡田さんは、以前は中部国際空港に勤務していましたが、今年4月から豊橋市に採用されました。出身は隣接する豊川市。小学校の頃はベルマークをよく学校に持っていったそうです。「ベルマークでボールが来たよ、と先生が言っていた。集めればもっともらえんと思ってました」

その頃はもちろん運動の仕組みは知りませんでした。教育政策課に配属されて大使を受け継ぐこととなり、改めて勉強したそうです。「詳しく仕組みを知って



からまだそんなに時間がたっていませんが、子どもたちは喜ぶし、関わる方々がみんなWin,Winになるような取り組みだと思います。学校だけではなく、もっと広まっていったらいいですね」

豊橋市は「ベルマーク日本一！プロジェクト」に取り組んでいます。岡田さんは、いわばその新しい顔。「がんばります」と明るく答えてくれました。



趣味は旅行で、バリ島や韓国、そして各地の温泉などを訪ねたことがあるといいます。でも「豊橋市もいいところは多いです」。例えば、豊橋市には全国で17都市19路線でしか運行されていない路面電車が走っています。パトカーのような塗装の通称「パト電車」など多彩な車両があります。「冬はおでん車、夏はビール電車が走ります」。また豊橋市は手筒花火の発祥地で打ち上げが盛ん。使い終わった筒を傘立てに再利用していることもあるそうです。

「気持ちよく作業」古谷祐子さん・神戸市立魚崎小

神戸市立魚崎小学校（山本直子校長、児童1228人）PTAのベルマーク大使が



4月、小島香奈恵さんから古谷祐子さんに交代しました。2016年1月に同校から第一陣ベルマーク大使が

選ばれて以来、PTA役員が交代するたびに引き継いでもらっており、古谷さんは5代目になります。魚崎小は各学年6クラスずつの大規模校。多くの子どもたちの楽しい学校生活を、PTAの皆さんが支えています。

古谷さんはPTA本部役員として45名のベルマーク委員をまとめています。そのほかにも、6年生の学年代表として卒業式に関わる準備などをこなし、子どもたちのために日々奮闘中です。6年生の男の子と年長の女の子のお母さんで、こ



の日も長女を幼稚園に送ったあとの活動でした。

ベルマークに関わるようになったきっかけは、昨年PTA学級委員になり、ベルマーク委員会を選んだこと。でも今年は本部役員としてベルマーク以外の仕事もあり、「やります」と言うまで非常に悩んだそうです。



古谷さんによると「子どもが自ら『ベルマーク、わたしがやりたい！切りたい！』と言ってくれる家庭もある」そうで、同校のベルマーク熱の高さがうかがえます。「委員の皆さんに気持ちよく作業してもらい『ベルマークってそんなに負担じゃなかったな、楽しかったな』『ベルマーク委員、やったほうがいいよ』と思ってもらえる活動ができれば」。

実は、ご自身よりお母さまが、以前から熱心にベルマークを集めており、PTAベルマーク委員の経験もあるのだとか。

お子さんが将来「三代目」になっていただけたら、素晴らしいことですね。

説明会でもベルマーク大使が活躍

豊橋では“3ショット”が実現

5月7日から6月21日まで、全国95会場で開かれたベルマーク運動説明会では、各所でベルマーク大使の活躍も目立ちました。

愛知県豊橋市で5月29日に開かれた説明会では、この春大使に就任した豊橋市教育委員会教育政策課の岡田太絵子さんが発表者として登壇。市が進めている「ベルマーク日本一！プロジェクト」について話しました。

豊橋会場には、2016年に就任した第一陣大使のひとり、ジブラルタ生命保険（ベルマーク番号15）の松本哲さんと、昨秋に第二陣大使になったラッキーベル（同03）の脇川雅之さんが姿を見せました。ベルマーク大使はそれぞれ活動拠点もばらばらで、多忙でもあり、互いに顔をあわせる機会はそう多くはありません。そんな中、ちょっと珍しい大使の3ショットが実現。今回が大使としての初仕事で緊張気味の岡田さんに、ベテランの松本さんが「楽しいよ」と話しかける場面もありました。

脇川さんは、6月6日の大宮での説明会に参加した後、財団事務所に立ち寄ってくれました。兵庫県神戸市に本社があるラッキーベルで主に西の地域の営業を担当していたため、今回が初の財団訪問になります。マークを保管する倉庫や、マークを確認する作業を見学し、職員の説明に興味深げに聴き入っていました。「ベルマークにはお金と同じ価値があるので、預かったマークをしっかりと処理されている」と話し、いつか自分も仕分けを経験してみたいと抱負を語りました。

そのほか、5月28日の岡崎会場には地元の仕分けボランティアグループ「火曜会」の三田靖子大使が、6月13日の那覇会場には地域でベルマークを広めている真栄平京子大使が、それぞれ来てくださいました。また6月19日の鹿児島会場では、4人で大使を務める板坂4姉妹の三女・板坂茉莉菜さんが、お母さんの朋子さんとともに参加して受付を手伝ってくれました。



岩手県中学校長会長が財団を訪問

2021年開催「全国中学校総合文化祭」に期待

岩手県中学校長会の小野寺昭彦会長（盛岡市立下橋中学校長、岩手県中学校文化連盟会長）が5月20日、ベルマーク財団を訪れました。

財団では東日本大震災の直後から、東北3県の小中学校長会の協力を得て被災校を支援しています。岩手県の中学校には昨年度、部活動や校外学習などで利用するバス代を援助しました。鉄道の駅から遠い学校が多いそうで、「ベルマークの支援はありがたいです」。

震災から9年目を迎えた今、小野寺会長は「当時のことを話すより、今こここまで頑張ってきたことや、前へ向いてもらうこと」を大切にしているそうです。2021年8月には盛岡市で「第21回全国中学校総合文化祭」が開かれます。震災のあった2011年が岩手での開催だったそうで、それからちょうど10年後になります。「全国から受けた支援への、感謝を込めた大会にしたい」と、小野寺会長は期待を寄せていました。



キリンビバレッジが16万余点寄贈

「西日本」「東北」でキャンペーンも

協賛会社キリンビバレッジ（ベルマーク番号54）の中四国地区本部(本部長・村山浩義)は、中国・四国地方で実施した3つのキャンペーンで集めた165,267点のベルマークを6月24日、「西日本豪雨の被災校に」とベルマーク財団に寄贈しました。

キャンペーンは、応募はがきか官製はがきに同社製品のベルマークを貼って送ると、抽選で賞品がもらえるというもの。集まったマークはハガキの厚みもあって段ボール3箱分。西川和成・中四国地区本部営業企画部長から財団の高木文哉常務理事に目録が手渡されました。高木常務理事は「中四国のみなさんの善意の集まり。被災地のために使わせていただきます」、西川部長は「お客様にベルマークの良さがもっと伝わるよう活動していきたい」と話しました。

中四国地区本部は現在、「西日本豪雨復興キャンペーン」の第2弾を実施中です。応募すると抽選で100人にキリンレモン450mlボトル1ケース（24本）が当たります。同社製品のマーク4点を1口として応募します。締切は7月31日、当日消印有効。

また、同社の東北地区本部は7月20日から8月末日まで、東北各6県にて「ベルマークを集めて！東北の元気を応援キャンペーン」を実施します。こちらも、同社のマーク4点分で応募でき、抽選で同社グループ企業・小岩井農場からの賞品が合計200人に当たります。応募は9月2日の消印まで有効。応募いただいたベルマークは東北6県への支援に役立てます。

「西日本」「東北」ともに詳細の問い合わせは事務局（0120-465-231、平日午前10時～午後5時）へ。



キリンビバレッジの西川和成・中四国地区本部営業企画部長(左)からベルマーク財団の高木文哉常務理事に目録が手渡された

リサイクル学んで夏休みの自由研究に

キャノンエコテックパークが募集中

「ベルマーク運動で回収したインクカートリッジは、送った後はどうなるの?」。そんな疑問に答えようと、協賛会社のキャノンマーケティングジャパン（ベルマーク番号19）は、最新鋭リサイクル工場「キャノンエコテックパーク」で小学生向け環境学習・見学会を企画。参加者を募集しています。ここに集まるインクカートリッジの半数以上はベルマーク運動で回収されたもの。日頃の活動がリサイクルに貢献している現場を体験でき、夏休みの自由研究にもぴったりです。参加すると「キャノンエコマスター認定証」などがもらえます。

対象は主に小学4～6年生。実施日は7月29日（月）、

8月6日(火)、同21日(水)、同28日(水)、いずれも午後1～3時。所在地は茨城県坂東市馬立1234で、各日ともつくばエクスプレス・常総線「守谷駅」から無料シャトルバス運行（約45分）。自家用車でも可。希望者はメールで受け付けます。

kankyou@canon-mj.co.jpまで、本文に①「夏休みイベント申込」のタイトル②希望日、参加する子どもの人数と学年、付き添いの保護者の人数と代表者名③希望する来場手段（バスか車か、複数の車なら車1台に一人を代表者として連絡下さい）を明記して、希望日の2週間前までにお送り下さい。



ショールームを見学する小学生

ナックが今年も21万点寄贈

「暮らしのお役立ち企業」を掲げ、社内でベルマークを集めている株式会社ナック(本社・東京都新宿区)が、今年も約21万点のマークを届けてくれました。

ナックは宅配水「クリクラ」や、掃除用具などダスキンのレンタル商品、さらには住宅などを手がけている会社です。従業員は約2100人。毎日のちょっとした心がけで、気軽に取り組めるボランティア活動を「ちょいボラ」と名づけ、ベルマークのほか古本や使用済み切手の回収、地域清掃などに取り組んでいます。

こうした活動をまとめているのが同社CSR委員会。新しく委員長に就任した白濱夢子さん、前委員長の津村牧人さん、それに委員会顧問の小岸良昭さんの3人が5月31日にベルマーク財団を訪れ、事前に送ってあった段ボール2箱分のマークを前に、財団職員と懇談しました。同社からのベルマークの寄贈はこれで11年連続。「それでも、例年よりちょっと少なくて」

いえいえ、どうもありがとうございました。大切に使用させていただきます。



左から小岸良昭さん、白濱夢子さん、津村牧人さん

ベルマーク寄贈者・友愛援助リスト(敬称略)

〈震災寄贈〉 5月21日～6月20日

▼宮城県 岩崎亮子▼福島県 小田智子▼群馬県 桐生市立新里中学校▼埼玉県 田原純子 匿名希望 服部由美子 服部琴心・せいや 横須賀恭子▼千葉県 服部裕子 大森由里子 佐倉市ボランティア連絡協議会「使用済み切手収集の会」 多田明・直子▼東京都 アンジェラ 大石夢美 キリンビバレッジ(株) 野田伸子 プリダストンソフトウェア(株) 六郷美佐子 沖ウインタックユニオン (株)ハピラC S R 委員会 鎌田真由美 木村苺美・美桜 白取知子 田崎智子 富澤裕介 日本基督教団小金井緑町教会 パナソニックシステムソリューションズジャパン(株) J-MOT プラザー工業(株)法務・環境・総務部有志一同 前田紀代美 関谷春子と孫 ▼神奈川県 仙波由里子 大石愛海 佐藤あずさ 佐藤初江 城南信用金庫新横浜支店 日本郵便(株)長津田駅北口郵便局 小貫千加子▼新潟県 中村恭子▼山梨県 鶴間さつき▼岐阜県 井貝未奈 羽島市立桑原学園▼静岡県 南伊豆東小学校▼愛知県 田中利江 平井園行▼三重県 今村祥子 クツのクロダ▼大阪府 原口悦子 野口 川村早苗 土井由利子 匿名希望▼

兵庫県 匿名希望▼奈良県 宮崎新嗣▼和歌山県 辻友香子▼広島県 中国労働金庫労組▼福岡県 匿名希望▼熊本県 松永しのぶ▼ 矢嶋英恵▼無記名= 11 件

〈一般寄贈〉 5月21日～6月20日

▼北海道 岩永志穂 北海道ガス労組 美唄消費者協会 日本血液製剤機構千歳工場 山下雅宏▼岩手県 三田康子▼秋田県 佐藤恵子▼山形県 大滝博美▼茨城県 中央技術サービス(株) 匿名希望▼群馬県 関昌一▼埼玉県 杉浦廣子 敷陽一 清水ちひろ 武内亮介 野澤剛 市川和代 瓜田和美 田島克明 田島栄 田島淑江 千葉静江 水本忍▼千葉県 森靖之 藍場英光 飯泉久美子 木村富子 藤枝瑞 佐藤克則▼東京都 A S A富士見台 市川佳世子 (株)ナック 塩野公認会計士事務所 手塚久実 谷紀久恵 猪谷美代子 株式会社文理 小林紀子 女子パウロ会 鶴山英己 三菱UFJ銀行 日本橋コンサルティングデスク枝村圭一郎 米谷彩杜 北野陽子 住吉久美子 多摩朝日会 匿名希望 日本キリスト教団目白教会▼神奈川 県 井上明生 川崎久美子 安井ふみ子 石黒

琢一郎 モスバーガー秦野店▼新潟県 地域密着型複合施設わしま パナソニックエコソリューションズ労組新潟支部 田辺加代子▼石川県 宮森まち子・要▼山梨県 内村ゆき子▼長野県 塚田康子▼岐阜県 河合雅也 匿名希望▼愛知県 大槻勝登 奥村裕子 田中典子 匿名希望 大野章一▼三重県 アイスター商事代理店川口節子 岡田夏海 佐々木克広 匿名希望▼京都府 かみしばい「ことわ」▼大阪府 金子幸枝 清本彩子 大西祐子 守屋幸江 安藤寿味子 河合ちはさ▼兵庫県 平岡秀子 松尾靖子 岸川あかね▼奈良県 堀田幸代▼岡山県 片山工業労組女性委員会 鳥越多美子▼広島県 天野祐子▼山口県 荒川桂子▼福岡県 上原加津子 亀田良江▼大分県 石堂泰史 嶋崎光平▼ White Mild (おもいやりの会) 美少女戦士セーラームーン▼無記名= 24 件

〈友愛援助申し込み〉6月1日～6月30日

▼東京都 都立久留米西高（東久留米市）▼広島県 成和キッズアカデミー（広島市西区）

大台達成校

6月

峰台小	千葉県船橋市	5,001,788
白幡小	横浜市神奈川区	5,038,104
広小	広島県呉市	5,004,128
馬場小	横浜市鶴見区	4,043,030
古市小	広島市安佐南区	4,015,007
北部小	大分県中津市	4,017,524
帷子小	横浜市保土ヶ谷区	3,025,578
前田小	札幌市手稲区	2,005,013
大和田小	千葉県君津市	2,008,915
板橋第二小	東京都板橋区	2,013,060
緑野小	神奈川県大和市	2,005,843
上瀬谷小	横浜市瀬谷区	2,044,411
つばみ保育園	三重県松阪市	2,021,257
真津山小	長崎県諫早市	2,022,143
鹿児島女子高	鹿児島市	2,039,626
豊浦小	茨城県日立市	1,020,126
あざみ野第二小	横浜市青葉区	1,010,684
聖公会聖母こども園	新潟県三条市	1,002,833
山の下小	新潟市東区	1,017,862
和小	長野県東御市	1,050,819